



社会イノベーションの事業モデルおよび普及過程に関する研究

大学院 経営管理研究科

准教授 露木 真也子 (つゆき まよこ)

連絡先 県立広島大学 広島キャンパス 1471号室
Phone 082-251-9780
E-mail mayako(at)pu-hiroshima.ac.jp
(at)を@に変更してください



専門分野： 社会学 社会イノベーション、社会起業家研究

キーワード： 社会イノベーション、社会起業家、社会的企業、社会的包摂、地域福祉

● 現在の研究について

身近な社会問題を新しいアイデアで解決して社会の仕組みを変えていこうという取り組みが、これからの社会サービスのあり方や、働き方の新たな選択肢として注目を浴びてきています。こうした事業や活動を実践する人たちを「社会起業家」、社会的ミッションを最優先とする事業主体を「社会的企業」、そうした事業や活動の結果、それまでの物事の仕組みや価値観が変わることを「社会イノベーション」と呼んでいます。この社会起業家や社会イノベーション、社会的企業といったソーシャルセクターの取り組みが、私の主な研究対象です。

環境、教育、子育て、福祉など、社会起業家の事業や活動は広範囲かつ多岐にわたりますが、なかでも特に、福祉分野の社会起業家事例に注目してきました。たとえば障害者福祉の分野だけをみても、障害があってもなくても住み慣れた地元コミュニティで働いて暮らすことのできる仕組みづくり、というミッションは共通していますが、豆腐やクッキーなど食品製造から農福連携、インターネットを活用した手話通訳システム、障害がなくても身に着けたくなるお洒落な服飾デザイン等々、多種多様な事業モデルがあります。

人生を賭けて社会を変えようとする社会起業家たちの動機はどこにあるのか、画期的なアイデア誕生の背景にはどんなストーリーがあったのか、関心は尽きません。

● 今後進めていきたい研究について

社会イノベーションの多くは、目に見えない価値や変化をもたらすため、成果の大きさを第三者に分かりやすく示すことは困難を極めます。誰もが簡便に使える、事業や活動の背景にあるストーリーもあわせて表現できるような評価ツールを、いつか開発できたらいいなと思っています。

● 地域・社会と連携して進めたい内容

地域に根ざした先進的な事業や活動で大きなインパクトを生みだしている事例を選びすぐり、ケースブックの制作や公開講座の企画開催等を通じて、社会イノベーションの「広島モデル」を発信していけたらと考えています。

● これまでの連携実績

- 公益財団法人ひと・健康・未来研究財団助成研究「地域に根ざした共生社会づくりの実践と地域の未来を見すえた変革ストーリーの共創」
- 公益財団法人ちゅうごく産業創造センター「中国地域への定住移住促進に関わる方策検討調査」委員会副委員長
- 東京工業大学環境・社会理工学院エンジニアリングデザインプロジェクト
- 『地域に根ざした共生社会の実現—CBID 事例集』出版プロジェクト
- 三重県四日市地区広域市町村圏協議会「トイレシェアリングプロジェクト」第三者評価調査
- 内閣府地域社会雇用創造事業「特定非営利活動法人グラウンドワーク三島 グラウンドワーク・インキュベーション」第三者評価調査
- 東京工業大学大学院 公開講座「Change the World—日本の社会起業家が語る社会イノベーション」(2006-2014)